はちのへビジョン8.0（第８次八戸市総合計画）の前期基本計画案における意見募集について

市では、現在、令和９年度を初年度とする新しい総合計画（はちのへビジョン 8.0（第８次八戸市総合計画））を策定中であり、このたび前期基本計画の案をとりまとめましたので、これを公表するとともに、広く市民の皆様の御意見をいただくため、次のとおり意見募集を行います。

※はちのへビジョン 8.0（案）の概要は２ページ以降を御覧ください。

募集期間	令和８年 11 月９日（月）～令和８年 12 月８日（火）17 時　必着
意見の提出方法	別紙「意見記入様式」に、住所、氏名、電話番号を明記し、郵送、ファックス、電子メール、または持参で御提出をお願いいたします。 ※任意様式による提出や、メール本文へ直接入力された御意見は受け付けておりません。
提出先	〒031-8686　八戸市内丸一丁目１番１号 八戸市　総合政策部　政策推進課 【電子メール】seisaku@city.hachinohe.aomori.jp 【ファックス】０１７８－４７－１４８５
資料等	①はちのへビジョン 8.0 の前期基本計画案（下記の場所で縦覧できます） ②意見記入様式（下記の場所で入手できます） ≪縦覧・入手場所≫ 市庁本館・別館案内、南郷事務所、各公民館・市民サービスセンター、市立図書館、南郷図書館、図書情報センター、政策推進課（市庁本館４階） ※当該資料は、市ホームページからも入手できます。 組織から探す ＞ 政策推進課 ＞ 総合計画・地方創生等の推進 ＞ 総合計画 ＞ 次期八戸市総合計画の策定過程
その他	・お寄せいただいた御意見は、策定にあたって参考といたします。 ・御意見の概要や御意見に対する考え方は、ホームページ上で令和９年１月頃に公表する予定です（住所、氏名等の個人情報を除く）。 ・提出された御意見に対する個別の回答は行いません。 ・電話や来庁による口頭での御意見はお受けできません。 ・提出された個人情報は、今回の意見募集以外の用途に使用することはありません。
お問合せ	八戸市総合計画策定委員会 事務局（八戸市 総合政策部 政策推進課） 【電　　話】 ０１７８－４３－９２３３(直通) 【ファックス】 ０１７８－４７－１４８５ 【電子メール】 seisaku@city.hachinohe.aomori.jp

はちのへビジョン 8.0（案）の概要

１．計画策定の趣旨

総合計画は、市政運営の基本となる計画であり、まちづくりのあるべき姿を定め、その実現に必要な政策を総合的・体系的にまとめたものです。第８次八戸市総合計画となる「はちのへビジョン 8.0」では、将来、どのようなまちを目指していくのか、また、その実現のために、どのような理念や政策の方向性を掲げていくのかを示すものです。

八戸市では、昭和 47（1972）年、昭和 54（1979）年、昭和 63（1988）年、平成 10（1998）年、平成 18（2006）年、平成 28（2016）年、令和４年（2022）の７次にわたり総合計画を策定し、総合的・計画的な市政運営を図ってきました。

近年、時代の変化が速く、より多様化していく中においても、引き続き総合的かつ計画的な市政運営を着実に進めていくため、はちのへビジョン 8.0 を策定します。

２．計画構造・期間

本計画は基本構想、基本計画、単年度計画の三層で構成し、まちづくりを推進していきます。

基本構想	期間：令和9年度から令和 16 年度（8年間） 内容：当市が目指す将来都市像と、まちづくりの基本となる理念を主に示すものです。
基本計画	期間：（前期）令和9年度から令和 12 年度（4年間） （後期）令和 13 年度から令和 16 年年度（4年間） 内容：基本構想を行政における政策面から具体化し、政策目標や施策の方向性等を体系的に示すものです。前期・後期各4年間とし、社会情勢や市民ニーズの変化などを踏まえ、適宜必要な見直しを行いながら、市政を推進していきます。
単年度計画	期間：単年度 内容：基本計画全体を着実に推進することを前提として、その時々の社会情勢や市政上の重要課題に対応するため、関連する取組を横断的に組み合わせ、具体的な事業をまとめたものです。毎年度、取組状況や社会情勢の変化を捉え、必要な見直しを行いながら、課題の解決に向かって、重点的に取り組んでいきます。

３．基本計画の構成

第１章：本ビジョンのつくり	本ビジョンの計画構造や計画期間等を示します。
第２章：八戸市の現状	人口の見通しや当市の強みについて、現状を整理します。
第３章：基本計画について	行政として推進していく４つの政策分野や、各政策の内容、行政運営の視点等を示します。

４．特記事項

①今回、意見募集する範囲は基本計画の部分となります。

②冊子全体をパブリックコメントの対象としていますが、現時点の案であり、内容の一部について必要な修正を行うとともに、表紙を含めた全体的なデザイン・レイアウト、掲載写真の選定などについても、パブリックコメントの実施と並行して調整を進めます。